

船舶事故等調査報告書（軽微）

1 船舶事故 計 44 件

2 船舶インシデント 計 7 件

合 計 51 件

平成22年12月17日

運輸安全委員会

船舶事故等調査報告書（軽微）一覽

（函館事務所）

- 1 引船第三十五福德丸台船（船名なし）漁船第六十八吉丸衝突
- 2 貨物船松徳丸乗揚
- 3 漁船大徳丸転覆

（仙台事務所）

- 4 漁船第拾壱正進丸運航不能（機関損傷）

- 5 砂利運搬船第百五十六鳳生丸乗揚

（横浜事務所）

- 6 漁船明神丸漁船颯竜丸衝突
- 7 モーターボートマツヤ丸転覆
- 8 漁船第六安洋丸漁船欣栄丸衝突
- 9 貨物船 RICKMERS TOKYO 衝突（岸壁）
- 10 油送船 BOW MATE 遊漁船重郎平丸衝突
- 11 砂利運搬船第八大福丸乗揚
- 12 貨物船 SM1 養殖施設損傷
- 13 貨物船新力5乗揚
- 14 ケミカルタンカーEMERALD SAMBU 衝突（栈橋）
- 15 瀬渡船真精丸ミニボート MIHARA No.1 衝突
- 16 砂利石材運搬船富栄丸乗揚
- 17 油タンカー第23嘉栄丸漁船信幸丸衝突
- 18 水上オートバイ CHI CHI 3水上オートバイサーガラ VX 3衝突
- 19 漁船孝栄丸漁船好栄丸衝突
- 20 作業船第八金竜丸台船（船名なし）運航阻害

（神戸事務所）

- 21 貨物船第八末広丸乗揚
- 22 貨物船勇亀丸乗揚
- 23 押船第三清丸バージ J F E N 3 乗揚

- 24 漁船第五十八真好丸養殖施設損傷
- 25 砂利採取運搬船第二瀬戸内丸乗揚

（広島事務所）

- 26 貨物船高津川丸衝突（灯浮標）
- 27 自動車運搬船日王丸乗揚
- 28 引船第二光勝丸はしけ S K - 1 0 7 乗揚
- 29 貨物船イチキシマ乗揚
- 30 貨物船第一神徳丸漁船国栄丸衝突
- 31 漁船春洋丸モーターボート D J II 衝突

- 32 貨物船 C. S. OCEAN 漁船福吉丸衝突
- 33 押船第一早鞆丸はしけようこう 1 0 1 1 乗揚

（門司事務所）

- 34 押船第十八日好丸クラブ船兼起重機台船第八日之出丸乗揚
- 35 作業船吉丸乗揚
- 36 漁船第五萬漁丸運航不能（機関損傷）

- 37 貨物船豊洋丸乗揚

（長崎事務所）

- 38 漁船第1ゆうせい運航不能（機関損傷）
- 39 モーターボート良徳丸運航不能（燃料不足）
- 40 砂利運搬船第七勝栄丸乗揚
- 41 砂利運搬船第七勝栄丸乗揚
- 42 押船第十五あおい丸台船第六あを

い丸乗揚

- 43 モーターボートアドベンチャー乗揚
- 44 貨物船第三和晃丸乗揚
- 45 古代復元船遣唐使旅客船シーガル衝突
- 46 貨物船福栄丸乗揚
- 47 漁船漁栄丸運航不能（機関損傷）
（那覇事務所）
- 48 プレジャーボートY・K・T火災
- 49 押船第一南星丸乗揚
- 50 漁船第二十一愛宕丸運航不能（機関損傷）
- 51 漁船日昇丸乗揚

船舶事故等調査報告書

平成22年11月25日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010横第155号	
事故等種類	運航阻害	
発生日時	平成22年8月3日 15時00分ごろ	
発生場所	愛知県碧南市衣浦港 衣浦港東防波堤西灯台から真方位032° 1,250m付近 (概位 北緯34°49.7' 東経136°57.0')	
事故等調査の経過	平成22年8月12日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 作業船 第八金^{きんりゅう}電丸、9.1トン 243-30512愛知、木下船舶建設株式会社</p> <p>B 台船（船名なし）、長さ30m なし、木下船舶建設株式会社</p>	
乗組員等に関する情報	A 船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	A プロペラ欠損及び曲損 B なし	
事故等の経過	A船は、船長1人が乗り組み、B船をえい航し、衣浦港産業廃棄物処理用地付近を4～5ノットの速力で航行中、平成22年8月3日15時00分ごろ、衝撃音が発生した後、A船の船体が激しく振動するようになったため、自力航行不能と判断して他船によりえい航された。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南南東、風力 3 海象：潮汐 下げ潮の末期、潮高 約1.3m	
その他の事項	本事故発生場所付近は、航泊禁止区域とされ、捨石及びH型鋼が海底に沈んでいた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし A船は、B船をえい航して愛知県衣浦港産業廃棄物処理用地付近を航行中、A船のプロペラが捨石に接触した可能性があると考えられる。
原因	本インシデントは、A船が、B船をえい航して衣浦港産業廃棄物処理用地付近を航行中、A船のプロペラが捨石に接触したことにより発生した可能性があると考えられる。	